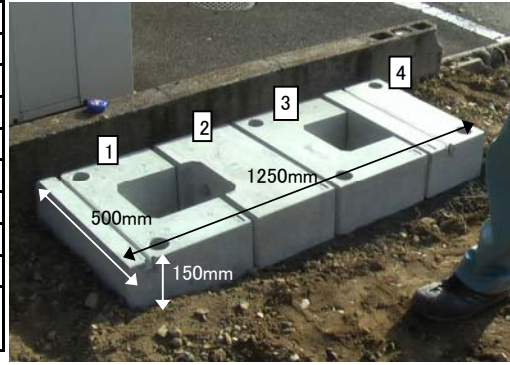


[HE500-SP施工説明]

1、製品の種類

表-1 HE500-SP

本体	型番		重量
	HE500-1	×1本	46kg
HE500-2	×1本	39kg	
HE500-3	×1本	46kg	
HE500-4	×1本	42kg	
付属品	品名		数量
	本体連結部材 (SP用)		一式
推奨品	ドライモルタル		50kg
	ガイドくん		一式
(別途)用意していただくもの	水		約2L



2、施工説明

① 墨だし・掘削・土間の整地



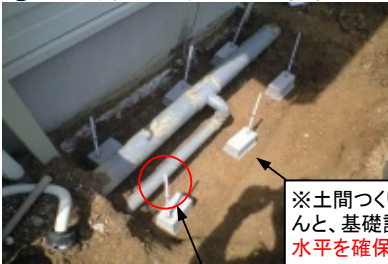
・製品寸法(1300mm×600mm×300mm)の墨だしを行い、土間を掘り起こし、填圧する。

④ 埋め戻し



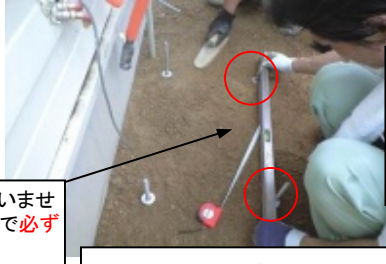
※先程取り付けしたナット・ワッシャーの位置まで土を埋め戻す。

② 寸法確認・地中ブロック設置



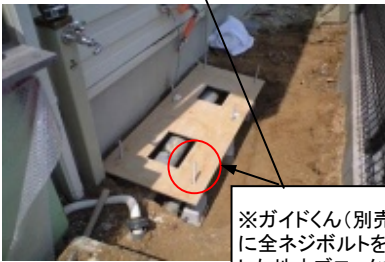
※土間つくりの時点で水平が確保されていませんと、基礎設置後の修正はできませんので**必ず水平を確保してください**

⑤ 水平出し



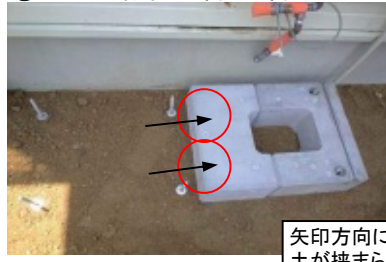
最も低いナットをベンチマークとし水平を調整する。
※ナット位置が高くなるとブロック設置後、全ネジボルトの長さが不足し、ブロックとの固定ができないケースがあります。

上部まで填圧しながら埋め戻したら、地中ブロックについているナットを再度調整して水平を出す。



※ガイドくん(別売)等を使用し、適正な位置に全ネジボルトを(ネジ上部より150mm)セットした地中ブロックを設置し、あらかじめ基礎設置レベルを付属のナット・ワッシャー取付後、上下させレベルを合わせる。

⑥ ブロック設置(1番→2番)



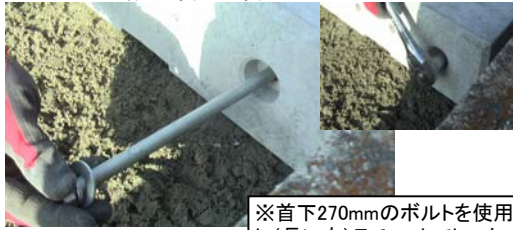
矢印方向に連結し、間に土が挟まらないよう気を付ける。

③ 耐震プレート作成



付属のインスタントモルタル25kg×2袋を練り、ブロック下部の張り出しが隠れるようにモルタルを敷く。

ブロック連結(1番→2番)



※首下270mmのボルトを使用し(長い方)ラチェットでしっかり締め込んでください。

ブロック設置 (2番→3番、3番→4番)



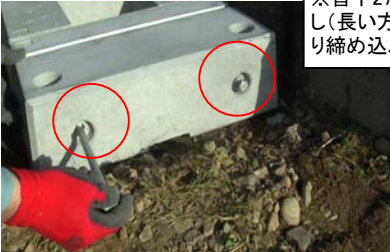
矢印方向に連結し、間に土が挟まらないよう気を付ける。

ブロック連結 (2番→3番)



※首下230mmのボルトを使用し(短い方)ラチェットでしっかり締め込んでください。

ブロック連結 (3番→4番)



※首下270mmのボルトを使用し(長い方)ラチェットでしっかり締め込んでください。

(地中)プレートとの連結



※ラチェット等でしっかり締め込む。

※各ブロック設置の際は必ず水平を確認してください。

⑦基礎完成、配管作業



地中ブロックに連結させている全ネジを、基礎上部面に合わせてカット加工しモルタルを詰める。基礎開口部にセメント又は土を入れ完成。

⑧機器設置



【機器設置の際】

①インサートキャップ取り外し



※インサートキャップを 先が4mmのマイナスドライバで外す。

②機器設置用ボルト取付



※ラチェット等でしっかり締め込む。



※コンクリート土間設置の場合(お客様側でご用意ください)

①土間に合わせてアンカー打設



※土間に合わせてアンカーを決め、後打アンカーと全ネジを用意する。

②レベル出し



※土間が傾斜している場合は、モルタルを敷き不陸を調整する